

- 問1 九州地方南部に位置する鹿児島県の大隅半島などには、「シラス台地」と呼ばれる火山灰が厚く堆積した地形が広がっています。この地域で肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. シラスは非常に水はけが良く、水田稲作に必要な水を保持しにくかったため、土地を広く活用できる畜産が発展した。 | 2. シラス台地は標高が高く一年中冷涼な気候であるため、暑さに弱い肉用牛の飼育に適した環境であった。 | 3. 広大な台地をすべて森林にする計画があったが、火山ガスの影響で樹木が育たず、やむを得ず畜産に転換した。 | 4. 火山灰に含まれる特殊な鉱物資源が家畜の飼料として最適であり、周辺の県からも家畜が集まるようになった。 |
|--|--|---|---|
- 問2 日本の地方別畜産産出額に関する統計において、九州地方はある品目の産出額が約3348億円に達し、北海道や東北、関東といった他の地方を大きく引き離して全国で最も高い水準にあります。この品目は何ですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|------|------|--------|
| 1. 乳用牛 | 2. 豚 | 3. 鶏 | 4. 肉用牛 |
|--------|------|------|--------|
- 問3 日本の都道府県別の茶の生産量割合を示した統計資料において、一位の静岡県（約40%）に次いで、国内第二位となる28.6%の割合を占めている九州地方の県はどこですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 三重県 | 3. 宮崎県 | 4. 福岡県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問4 福岡県北九州市周辺の地域では、明治時代に官営の製鉄所が建設された歴史背景を活かしつつ、現在は環境負荷の低減を目指したまちづくりが行われています。このように、廃棄物をゼロにすることを目指してリサイクル工場などが集まった地域のことを何と呼びますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|------------|
| 1. 工業団地 | 2. ハブ空港 | 3. エコタウン | 4. スマートシティ |
|---------|---------|----------|------------|
- 問5 九州地方の北部に位置し、福岡県と佐賀県にまたがって広がる、日本を代表する稲作地帯として知られる平野はどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 熊本平野 | 2. 筑紫平野 | 3. 宮崎平野 | 4. 十勝平野 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|------------|------------|
| 1. 杓岐・日本海海流 | 2. 対馬・リマン海流 | 3. 杓岐・対馬海流 | 4. 対馬・対馬海流 |
|-------------|-------------|------------|------------|
- 問7 九州地方の冬の気候が、東京などの他の地域と比べて比較的温暖である理由を説明した次の文章の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「九州の太平洋側には（①）が流れ、そこから分岐して東シナ海から日本海側へと（②）が流れている。これらはどちらも（③）であり、周辺の気温を上げる役割を果たしている。」 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. ①親潮（千島海流） ②対馬海流 ③寒流 | 2. ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流 | 3. ①黒潮（日本海流） ②リマン海流 ③暖流 | 4. ①親潮（千島海流） ②リマン海流 ③寒流 |
|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問8 ある都市の統計において、第3次産業の就業者割合が約84.5%と非常に高く、65歳以上の高齢者割合も約31.0%に達している場合、その都市の産業特性として考えられる内容を次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。 | 2. 高速道路のインターチェンジ付近に半導体工場などの工業団地が形成されており、製造業に従事する第2次産業の割合が高い。 | 3. 大都市圏のベッドタウンとして機能しており、都心部へ通勤する会社員が多いため、夜間人口が昼間人口を大きく上回っている。 | 4. 平野部において高度に機械化された稲作が行われており、周辺自治体に比べて第1次産業の就業者数が突出している。 |
|---|--|---|--|
- 問9 日本の農業に関するある統計資料において、第1次産業に従事する人の割合が全国平均より高く、さらに食料自給率が190%という極めて高い数値を示している鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。 | 2. 四国地方に位置しており、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が産業の中心である。 | 3. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、乳牛の飼育を中心とした酪農や、大規模な機械化による畑作が行われている。 | 4. 日本海側に位置しており、冬の積雪を活かした稲作が盛んで、銘柄米の生産に力を入れている。 |
|---|---|--|--|
- 問10 九州の複数の都市の産業構造を比較した際、第2次産業の就業者割合が他の都市より際立って高い都市に共通する要因として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 金融業や保険業に従事する人口が多く、都市機能が高度に発達していること | 2. 農林水産業に従事する人口が多く、食料品の加工が産業の中心であること | 3. 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること | 4. 医療や福祉などのサービス業に従事する人口が多く、高齢化社会に対応していること |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
- 問11 鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 杓岐島 | 2. 奄美大島 | 3. 屋久島 | 4. 種子島 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問12 2020年の統計において、岡山県、愛媛県、沖縄県、宮崎県の4県を比較したとき、製造品出荷額よりも農業産出額の多さが際立ち、特に肉用牛や豚、鶏などの畜産業が盛んで農業産出額において高い割合を占めている九州地方の県はどこですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 沖縄県 | 2. 岡山県 | 3. 宮崎県 | 4. 愛媛県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 鹿児島県における豚の飼育状況について、1970年代から2010年代にかけての変化を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|
| 1. 飼育戸数と飼育頭数がともに減少し、県全体の生産体制が縮小した。 | 2. 飼育戸数は横ばいだが、一戸あたりの飼育頭数が減ったため、生産効率が低下した。 | 3. 飼育戸数が急増したことにより、一戸あたりの飼育頭数が制限されるようになった。 | 4. 飼育戸数が減少する一方で、一戸あたりの飼育頭数が増加し、経営規模が拡大した。 |
|------------------------------------|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シラスは非常に水はけが良く、水田稲作に必要な水を保持しにくかったため、土地を広く活用できる畜産が発展した。	鹿児島県に広がるシラス台地は、過去の火山活動による火砕流堆積物が積み重なってできた地形です。この土壌は水分を地中に通しやすい（水はけが良い）という性質を持っているため、大量の水を蓄える必要がある水田稲作には不向きでした。その代わり、サツマイモなどの畑作や、広大な土地を有効活用できる肉用牛、豚、鶏などの畜産業が大きく発展し、現在では日本有数の畜産地帯となっています。
問2	答え 4 肉用牛	九州地方、特に鹿児島県や宮崎県は日本有数の畜産地帯です。広大な土地や気候条件を活かし、肉用牛の生産規模は全国で突出しています。一方で、乳用牛については北海道が全国の産出額の過半数を占めており、九州地方の特色とは異なります。
問3	答え 1 鹿児島県	2015年の統計において、鹿児島県は全国の茶生産量の約28.6%を占める一大産地となっています。九州地方は茶の栽培が盛んですが、その中でも鹿児島県は広大な平坦地（シラス台地など）を活用した大規模な機械化栽培が行われており、静岡県に次ぐ全国第2位の生産量を維持しています。
問4	答え 3 エコタウン	北九州市は、1997年に日本で初めて「エコタウン」としての承認を受けた地域の一つです。かつての鉄鋼業を中心とした重厚長大産業の技術を、廃棄物処理や再資源化の技術へと転換し、循環型社会の構築を目指すモデルケースとなっています。これにより、地域の産業活性化と環境保護の両立を図っています。
問5	答え 2 筑紫平野	筑紫平野は、九州最大の河川である筑後川の下流に広がる平野です。クリーク（水路）が発達し、古くから稲作が盛んに行われています。選択肢の熊本平野は九州中部、宮崎平野は九州南東部に位置します。
問6	答え 4 対馬・対馬海流	九州の北方に位置する対馬は、朝鮮半島との距離が近く、古くから外交や貿易の要衝としての役割を果たしてきました。この対馬の近海を通り、東シナ海から日本海へと北上する暖流は対馬海流と呼ばれます。選択肢にある壱岐は対馬と九州本土の間に位置する島であり、リマン海流は日本海を南下する寒流のことです。
問7	答え 2 ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流	低緯度（南の方）から流れてくる黒潮（日本海流）は、暖められた海水を運ぶ暖流です。この黒潮から枝分かれして日本海側へ流れ込む対馬海流も同じく暖流であり、これら2つの海流が九州を取り囲むように流れることで、冬でも沿岸部の気温が下がりにくなります。一方、親潮やリマン海流は北から流れてくる寒流であり、九州の気候への直接的な影響は黒潮や対馬海流に比べると小さくなります。
問8	答え 1 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。	第3次産業の割合が8割を超えるような極めて高い数値は、観光業に特化した都市で見られる典型的な特徴です。特に温泉地のような歴史ある観光地では、産業構造がサービス業に偏る一方で、現役世代の減少により高齢化が進んでいるケースが多く見られます。製造業が中心の場合は第2次産業が、農業中心の場合は第1次産業が一定の割合を占めるため、これほど第3次産業に偏ることはありません。
問9	答え 1 シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。	鹿児島県は、その土地の多くが火山灰由来のシラス台地で占められているため、大規模な畜産施設を設けるのに適しており、豚や黒毛和牛の生産が非常に盛んです。また、畑作ではさつまいもの生産量が日本一であり、これらは加工品や飼料としても利用されています。食料自給率が100%を大きく超えているのは、県内で消費する量をはるかに上回る食料を生産し、全国各地へ供給している「日本の食料基地」としての側面を持っているためです。
問10	答え 3 製造業に従事する人口が多く、特に自動車関連の工場が集積していること	製造業、特に自動車の組立や部品製造を行う工場が多数立地している地域では、直接生産活動を支える労働者が必要とされるため、第2次産業の就業者が集中します。そのため、卸売・小売業などの第3次産業が中心になりやすい県庁所在地などの他の都市と比較して、第2次産業の割合が相対的に高くなるのが特徴です。
問11	答え 4 種子島	鹿児島県の南方に位置する種子島は、島全域に平坦な丘陵が広がっているのが特徴です。この地形を活かして、日本最大のロケット打ち上げ施設である種子島宇宙センターが設置されており、宇宙開発は島の重要な観光資源にもなっています。また、温暖な気候を利用したサトウキビ栽培も島の主要な産業の一つです。
問12	答え 3 宮崎県	宮崎県は、シラス台地などの地形的特性を活かした畑作や畜産業が非常に盛んな県です。農業産出額に占める畜産の割合が全国的に見ても非常に高く、豚や肉用牛、ブロイラーの生産量は日本トップクラスです。選択肢にある他の県と比較すると、岡山県は製造業の規模が大きく、愛媛県は果樹（みかん）、沖縄県は亜熱帯農業といった異なる特徴を持っています。
問13	答え 4 飼育戸数が減少する一方で、一戸あたりの飼育頭数が増加し、経営規模が拡大した。	鹿児島県の統計資料によると、飼育戸数を示す指標は年々減少の傾向にありますが、飼育頭数を示す指標は高い水準を維持し続けています。このことから、一戸あたりの飼育頭数が以前よりも大幅に増えていることがわかります。これは農家の高齢化や後継者不足により戸数が減る一方で、残った農家が設備投資などを行い、より多くの家畜を育てる大規模化が進んだことを示しています。